

議 平生町
議会だより

第 131 号

2014 年 4 月 25 日

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 福田 洋明

編集 議会広報広聴調査特別委員会



(平生保育園)



(宇佐木保育園)

そつえんしき
さいごの卒園式 (町立保育園として)

3 月
議会報告
いっぱん質問

定例会・補正予算……………	2・3 ページ
常任委員会審査報告……………	4 ページ
いっぱん質問……………	5～11 ページ
町内企業訪問……………	11～12 ページ
編集後記・議会の動き……………	12 ページ

平成26年第1回平生町議会定例会が、3月6日から12日間の日程で開かれました。

3月議会は新年度の予算を審議します。

提案された議案は平成25年度補正予算4件、平成26年度予算9件、条例6件、事件4件、承認1件、同意1件、諮問1件です。議案は全会一致または賛成多数で可決・承認されました。

一般質問では8人の議員が登壇し、市政の取り組みについて質問しました。

平成26年度のテーマ

山田町長は、本町のまちづくり指針であり、

まず「第四次総合計画」の前期基本計画の4

年目であり、計画のより一層の具現化の推進、

そして将来にわたって持続可能な財政構造を

構築することに主眼をおき、予算編成テーマを「協働で未来を拓く

まちづくり」と定めました。

5つの柱は

参加と協働のまちづくり

各地域のコミュニティ協議会の設立に向けた支援をはじめ、地域活動拠点の確保と機能向上、住民提案制度

の創設、地域ごとのプランの策定支援、まちづくりリーダーの養成などを進める。

住み良さを実感できるまちづくり

自主防災組織率の向上、自主防災組織の訓練、「防災メール発信事業」の加入促進や、継続事業として防災無線の整備、消防ポンプ積載車の更新などに取り組む。

災害に強いまちづくり

のため、佐賀地区の海岸保全事業に取り組むほか、海岸高潮対策の施設である中川と曾根の両排水機場の改修に伴う県事業負担金などを計上している。

佐賀地区移送サービスモデル事業の支援をはじめ、介護サポートタクシー事業、生活サポート事業を引き続き実施する。

公共施設の機能維持

強化のため、橋梁調査、補強設計や道路、河川、下水道などの生活基盤の整備にも引き続き取り組む。

子どもたちの未来を育むまちづくり

各種保育サービスや母子保健対策事業を柱に、子どもの健全な育成や子育て支援体制の整備、予防接種事業などに、子どもと親が健康に暮らすことのできる環境整備を進める。

新設保育園への円滑な移行ができるよう、町として可能な限り支援をする。

確かな学力向上のための体制づくり、安全・安心な教育環境の整備、

家庭と地域がつながり信頼される学校の創造、生涯学習、青少年健全育成活動の推進など、取り組みを進める。

学校施設の耐震化については、引き続き耐震化率の向上に取り組む。

地域資源を生かしたまちづくり

農業や水産業においては担い手の育成、確保、支援や経営基盤の安定に向けて、関係機

関と連携しながら取り組みを進める。

深刻化する有害獣による農業被害を軽減するため、各種施策により総合的に取り組む。

ひらお産業まつりは引き続き取り組み、観光協会による自主的かつ積極的な事業展開が交流人口の増加や地域の活性化につながるよう支援していく。

健全な財政で未来を拓くまちづくり

総合計画の具体化を積極的に進め、明るく住みよいまちづくりに取り組むとともに、後期基本計画の策定準備に着手する。

第五次行政改革大綱に定める実施計画を実践することにより、地方分権、地域主権時代にふさわしい自治体をめざしていく。そのため、起債残高の減少、

基金残高の増加などの財政基盤の強化に取り組むことと併せ、安定的な歳入の確保と経費削減に努めたい。

平成26年度は92億円

平生町一般会計予算

49億3,100万円

特別会計

43億43万円

平生町国民健康保険事業勘定特別会計予算

19億3,022万円

平生町下水道事業特別会計予算

7億5,094万円

平生町水産廃棄物処理事業特別会計予算

8万円

平生町漁業集落環境整備事業特別会計予算

9,337万円

熊南地域介護認定審査会事業特別会計予算

2,764万円

平生町介護保険事業勘定特別会計予算

12億4,916万円

平生町後期高齢者医療事業特別会計予算

2億2,092万円

平生町飲料水供給施設事業特別会計予算

2,806万円

平成25年度補正予算

今回の一般会計補正額679万円を追加いたしました。予算総額は50億4,568万円となります。

▽特別会計

国民健康保険補正額2,371万円追加いたしました。予算総額18億9,975万円となります。下水道事業補正額4,056万円減額いたしました。予算総額6億8,117万円となります。介護保険補正額2,725万円減額いたしました。予算総額12億2,714万円となります。

一般会計主な歳出

- ▽総務費 企画振興費 371万円増
- ▽民生費 障害者福祉費 1,489万円増
- ▽衛生費 健康づくり推進事業費 159万円減
- ▽労働費 勤労青少年ホーム運営費 40万円減

平成25年度平生町一般会計補正予算	679万円 原案可決（全会一致）
平成25年度平生町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	2,371万円 原案可決（全会一致）
平成25年度平生町下水道事業特別会計補正予算	△4,056万円 原案可決（全会一致）
平成25年度平生町介護保険事業勘定特別会計補正予算	△2,725万円 原案可決（全会一致）

▽農林水産業費
ひらお特産品センター管理費 117万円増

▽土木費
下水道整備費繰出金 1,161万円減

▽消防費
消防施設費 175万円減

▽教育費
保健体育施設費 724万円増

特別会計主な歳出

▽（国保）保険給付費
一般被保険者療養給付費 3,250万円増

▽下水道事業費
下水道整備費 2,925万円減

▽（介護）保険給付費
高額介護サービス費 869万円減



下柵 義彦さん

固定資産評価審査委員の選任に同意

秋森の下柵義彦さんは今回任期満了となりましたが引き続きのご活躍をいただきたく再度選任に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員は固定資産課税台帳に記載された事項に関する不服申し立てを、審査決定するものです。

委員会の定数は3人で、任期は3年です。他の委員さんは長迫の松田宏治さん、喜多の久保徳行さんです。



中嶋 一成さん

人権擁護委員の推薦に同意

中嶋一成さんには、3期9年間本町の人権擁護委員としてお務めをいただいておりますが、これまで人権啓発、人権相談等に携わるとともに、周南人権擁護委員協議会会長としても活躍されており、人格、識見に優れておられ、再度推薦することにご同意しました。

委員会の定数は3人で、任期は3年です。他の委員さんは土手町西の五味洋子さん、伊保木の中丸和則さんです。



常任委員会審査報告

総務厚生常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、3月10日に慎重に審査した結果全会一致または賛成多数で全て承認しました。
主な審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

地方バス路線維持対策費補助金のバス利用状況は、
年度により相対的

には減少傾向にある。
防災士資格の取得状況は、
6名が新たに取得

国民健康保険事業

来年度以降の70歳到達者が順次2割負担に移行していくことで、国保会計の影響は、保険料歳入については直接的な影響はない。

新年度予算

歳入全般について款

ごとの計算根拠は、
実交付額見込みを重視した算出方法へ変更した。

地域元気づくり交付金の概要について。
コミュニティ協議会運営交付金と元気な町づくり交付金の2本柱で実施していく。

起業教育センターへの補助金に関して島スクエア事業についての現状と継続性、当町で起業する場合への支援は、
当町内での起業事業例も出てきており、

独自での起業支援を検討したい。
安心生活基盤構築事業の概要について。

生活支援サービスや居場所づくりの実施。町社協や各団体と連携し取り組む。

高齢者筋力向上トレーニング事業の増額について。
スタッフの賃金の増加、機器メンテナンスや理学療法士への謝礼が含まれる。

救急告示病院運営費補助金の算出根拠は、
特別交付税措置に

よる財源により1市4町全体で助成するものである。

国民健康保険事業

保険税の改定について。
3年後、県域での運営に移行するため、健康保険としての公平性と財政状況を考へて実施する。

事件

借り上げている保育園グラウンド用地について。
民間保育園への貸付により使用する。

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、3月12日に慎重に審査した結果、議案は全会一致で承認しました。
主な審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

有害獣対策地域活動支援事業の予算が不足することはないか。
不足した場合林業

総務費の補助金の中で対応したい。
住宅リフォーム資金助成事業の状況は、
今年度は36件で285万9千円の助成を行った。

下水道事業

宇佐木地区の公共下水道管渠布設工事について繰越になった理由と今後の対策は、
警備員が確保できず、工期を延長したため、今後は工期を守

新年度予算

伝承の土づくり推進事業について。
数種類の有機たい肥の中から推奨たい肥を厳選し、環境保全農業の技術を磨きあげていくものである。

水産振興対策事業により放流されたアサリ等の効果について。
順調に推移し、効果が上がっている。
産業まつりについて、

5ブースの範囲が広いため車がないと回れないのでは。
全ブース回るためのガソリン代相当の土産を用意している。

道路橋梁維持費の委託料で、公園管理と橋梁調査・補強設計の場所は。
秋森道路公園の管理委託費・古万屋橋、共栄橋、兼石橋、第2荒木橋、堀川橋の5橋を予定している。
平生小学校給食室改修の詳細は、
雨漏り、塗装の剥離等の不具合を改修するもの。

下水道事業

下水道施設点検調査の内容は、
古くなったマンホール鉄ぶた点検を100ヶ所予定。

中学校の給食費の備品購入費の内容は。
食器の更新とガスフライヤーの買い換えをするもの。
保健体育総務費の報償費について。
対象スポーツをバスケットボールとし、講師をNBLの現役選手にお願いする予定。



河藤泰明 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 総合相談窓口の設置はできないか

答 真摯に温かい対応を心がける

質 町民から大小さまざまな相談があると思う。件数と解決率はどれくらいと把握しているか。

相談者と一緒に安心できる窓口、結果が出るまで、しっかりお互いが確認できる総合窓口の設置を前向きに検討できないか。



総務課の窓口

答 町長

役場の仕事は、「ゆりかごから墓場まで」多種多様な相談、苦情問い合わせがある。年間2、3百件ののぼると思う。8割近くは解決している。まずは、最初に相談を受けたところが、来庁者の立場に立って、しっかり真摯に対応し、町民の皆さんの気持ちをおくんで温かい対応を心がけることが第一だと思う。

質 人材育成と継承を

答 汗をかいていく

質 多くの団体が平生町の発展を支えてきたこと、その中で町民の活動が平生町の発展を支えてきた。

これまでの功績を受けつぎ、さらなる発展を続けるために、行政として、どのように取り組むか。



平生町スポーツ少年団指導員

答 町長

成果を受けつぎながら、まちづくりに生かしていくのも大事な視点。人材の配置やバランス、みんなが力を発揮できるような体制、次の世代につながる体制づくりに向け、汗をかいていく。

答 教育長

ノウハウの継承をお願い、課題の提示をしていきながら研さんを積んでもらいたい。



渕上正博 議員

質 介護事業所、介護職員の保証は

答 法の中身を踏まえ対応する

質

今回の介護保険の見直しは、要支援者向けの訪問介護・通所介護が市町村事業に移され、ボランティアや民間企業に、サービスを肩代わりさせる。
1、経営難に陥る介護事業所が出る事が懸念される。
2、介護利用者が減れば、介護職員の賃金や労働条件の引き下げにつながる。
この2点についての考え方は。

答

町長

国で審議されている段階である。事業の移行が決まれば、ガイドラインを踏まえて、一体的に対応していける地域包括ケアシステムを構築できるよう努力したい。
報酬の設定等についても十分対応していきたい。



平生町社会福祉協議会 “あいあむ”

質 要配慮者と共有する地域づくりは

答 共助のシステム作りを

質

地域防災計画の中で、「要配慮者」の問題がある。
個人情報保護条例では、目的外利用や、第三者提供が認められていない限り、民生委員や自治会などで日常的に活用できない。
災害時には、外部に出せることになっているが、訓練等で使えない名簿では意味がない。
日常的に情報を共有した、地域づくりの考え方は。

答

町長

今回の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿を作成し管理する。
町内の一定の地域では災害福祉マップを策定いただいている。共助のシステムを地域でつくり、防災力を高めることにつなげていく。
地域防災計画の改定の中でも考えていきたい。



津波を想定した避難訓練
(土手町東一区自治自主防災会 4月13日)



細田留美子 議員

質 総括と新年度予算に対する想いは

答 条例の具現化とインフラの整備がポイント

質

町長は就任以来、対話重視で住民との協働のまちづくりを目指して町政を運営してこられた。

4期目最後の予算編成に当たって何を重視されたか。またこれまでの総括を聞く。

今回の参加と協働のまちづくり事業や公益活動の育成・支援は住民全体のまちづくりの要となる大切な事業と考える。詳しい内容を問う。

答

町長

就任した平成11年から約250の新規事業を行ってきた。

今年度は『参加と協働のまちづくり条例』の具現化に力を入れた。地域の夢プランの策定人材育成、地域づくり支援など考えている。

公共インフラの整備にも力を入れていく。27年度の工事完了で学校の耐震化が終了する。道路橋梁公共インフラ長寿命化計画も着手して安心して暮らせる町にしていきたい。



新規事業の佐賀の移送サービス

質 審議会・委員会で内容のある審議に

答 設置及び公開に関する要綱で対応

質

年度末になり、集中的に各種の審議会や委員会が開かれている。

以前にも委員の選任方法等について質問している。その後の変化はどうか。

また、内容ある審議にするためにどんな工夫がされているのか。事前資料の配布や会議の進め方など担当課によって対応が異なるのか。連携はされているのか。も質問する。

答

教育長

審議会・委員会は計42あり513人の定員。女性の比率は以前の質問時は14・7%だったが今は20・5%になっている。

平成24年に設置と公開に関する要綱を制定。その中で選任基準を示し、女性の登用や任期兼務について考えていく。

内容ある審議にするため資料の事前配布や議事進行の打ち合わせ等しっかりとやっていく。



要綱で対応と答える町長



久保俊一 議員

質 一般質問の取り組み状況について

答 担当課に指示し取り組んでいる!



危険な廃屋の倒壊（曽根地区）

質

(1) 第四次平生町総合計画について。
 (2) 住民との協働の推進について。
 (3) 平生町の活性化の取り組みについて。
 (4) 山田町長の町政運営について。
 これらの進捗状況等を項目毎に、実行・改善された事。今後の取り組み・計画・予算等に反映しているのか。各担当課にどのような指示及び指導されたのか、町長の取り組みをお聞かせください。

答 町長

(1) 総合計画毎年の積み重ねが将来像の実現。後期計画に向けて準備を進める。
 (2) コミュニティ協議会の設置に向けて話し合い。協働のまちづくり事業予算計上。
 (3) 町の活性化は、総合計画を着実に。町の活性化の為、地道に取り組んでいく。
 (4) 快適に住みよいまちづくりに向けて、空き家対策に、新年度から建設課の班体制の見直し。

質 『ひらお』は魅力のあるまちですか!

答 平生町は魅力のある町!

質

『ひらお』は魅力のあるまちと思いますか。
 田布施は桜祭り。上関は鳩子の湯・柳井は白壁の町並み・周防大島は自然豊かな島。
 何かひとつ人を集める魅力を持っている。
 平生は豊かな自然・自然エネルギー・企業祭と魅力の要素はあるが、現状では周辺の市・町の通り道になっていて『ひらお』に人を呼ぶ事もできないと思います。町長の考えをお聞かせください。



我が町の魅力（田名地区）

答 町長

『ひらお』は魅力のある町だと思う。あれもない、これもないというマイナス思考ではなく、今あるものをどう生かしていくのかとプラス思考でいくというのが一番、私はスタートだと思っている。
 これはしっかりと取り組んでいかなければいけない課題でもある。
 地域資源を活用し生かしていく。お互いに大事にし、知恵を出し努力。平生町は魅力がある町。



平岡正一 議員

質 防災対策として具体的な訓練を

答 対策は行っている

質 東日本大震災から3年になる。新しい地域防災計画も原案が出ているが、具体的なマニュアルはこれからとなっている。
種々の災害を想定した災害対策本部の設置訓練や、避難勧告などの発令や周知の訓練など行政組織として取り組む課題がたくさんある。庁舎の現状を考えると早急な対応が必要と思うがどうか。



平生町地域防災計画（平成26年3月改定）

答 町長 台風接近の際には、対策本部を構成するメンバーで、事前に対策会議を行って、情報交換し、具体的な対応まで行っている。
また、防災チェックシートにより、職員の配備状況、関係機関等の連絡、被害状況等を確認できるよう準備させている。
避難勧告の発令は、空振りになっても、早目にやっていきたい。

質 基礎学力の向上 学校・地域・家庭の連携は

答 家庭学習、立志式等を発信したい

質 基礎学力向上のために小学校低学年時の取り組みの重要性を訴えてきた。学校支援員の配置や地域との連携の強化など取り組みが進められており、高い評価を受けている。
一方で家庭環境の複雑化で家庭との連携に課題があると思う。以前土曜日を活用した家庭との連携強化を提案してきたが取り組みの現状はどうか。

答 教育長 地域協育ネットが文部科学大臣の表彰を受け、地域総がかりで子供達を育てようということが地についてきて保護者の方の姿が見えだしてきた。
家庭学習が教育の原点だということを発信していきたい。
土曜授業の提案だが、中学校で立志式を行ったが、例えば土曜日にこのような行事を持つことで地域の方に関心を持ってもらえるよう考えていきたい。



立志式



岩本ひろ子 議員

質 平成26年度予算組みについて

答 活性化は総合的に取り組んでいく



産業まつり企業ブース

質

今年度の予算組みを見ると商工費が昨年度より1.2%減少し本年度の構成比率も0.4%と低くなっている。この予算組みで町の経済活性化・若者定住に向けて魅力ある平生町はできるのか。また基金を取り崩しての予算、収入源が減る中でどう立て直しをしていくのか。

答 町長

商工費の減少は、商工会からの予算要望によるものである。商工会では、広域観光連携事業に取り組み、県からも補助金が出るということ、商工会そのものの予算は前年より大きい予算になっている。自主財源では、固定資産税はプラスの見込みになっている。継続事業は、毎年度事務事業評価にて必要性を判断している。

質 食品廃棄物削減について

答 循環型社会のため研究していきたい



松本武士 議員

質

世界で一番食べ物を捨てている国は日本であるといわれている。山口県での食品廃棄物は年間18万トン、このうち約6万トンが食べられずに廃棄されている。「食品ロス」である。人口割にして平生町の食品ロスの量を推計すると約563トンである。世界では約9億の人々が栄養不足の状態にある。削減に向けて取り組んでいるのか。フードバンクの取り組みを社協で行えないか。

答 町長

県において、食品ロス削減推進協議会が食品ロス削減に取り組んでいる。町では、一般廃棄物処理計画の中で計画的な買い物を推奨している、これをPRしていきたい。フードバンクは、社協では、月一回の配食サービスなので難しい。フードバンクの発想は、循環型の社会を支えていく体制の一つであると思う。研究していきたい。



食品ロス削減のためのリーフレット等



中川裕之 議員

質 防災・安全対策は充分か

答 万全に備えている。中四国エリアで対応している。

質

東日本大震災から3年が経過した。この度、平生町地域防災計画書の中間報告のなかに防災関連機関相互連携体制、県内全市町による広域消防応援協定とあるが具体的にどういうことか。又、近年PM2.5なる人体に悪影響を及ぼす大気汚染物質や放射線量を含めモニタリング等の対応はどうなっているのか。

答 町長

PM2.5は大気汚染防止法に基づいて県が常時監視を行っており



平生町防災会議

答 総務課長

県内19ヶ所で測定している。リアルタイムで公表しており測定値が85マイクログラム/m³を超えると注意喚起を行っている。放射線量については県内6ヶ所にモニタリングテストを設置して公表された測定値を参考にして対応している。防災協定は県と災害時の応援協定を結んでいる。中国ブロックにおいてもカウンタートパートで災害の場合は中四国エリアで災害体制の取り組みをしている。

町内企業訪問

企業訪問は、3年前に役場に届いた1枚のFAXがきっかけでした。それは、長年、町内で衣料品を製造されていた工場を閉鎖する内容でした。

町の活力、町民の雇

用の場がなくなるという一大事にFAX1枚で済まされるような関係しかなかったのです。

議会でも「産業振興」は重要な課題のひとつです。

「まずは『知る』ことからはじめよう。」と、平成23年11月から有志での訪問がはじまりました。

平成24年10月からは、産業文教常任委員会の調査案件「産業振興」として取り組んでいきます。主旨に賛同する委員外議員も参加していきます。

永大産業株式会社

昭和43年よりフローリングやパーティクルボード等を生産しています。パーティクルボードとは、木くずを

加工し合板とし再生し、リサイクルすることで、環境問題にも貢献しています。

転倒時の衝撃を吸収する、人にやさしいフローリングを製造しています。

三新化学工業

昭和36年操業から主にゴム薬品の製造をしています。これは、タイヤの質や性能を飛躍的に向上させるものです。

日本を代表する車産業の発展を支えてきました。

ボランテニア活動として毎月2回工業団地の周辺清掃もされ、環境整備にも努めておられます。

柳井紙工株式会社

昭和39年よりパッケージ品を製造しています。王子紙器グループに属し、特にお菓子分野で企画力とノウハウを生かし国内全域で活躍されています。

お菓子を、より美しく魅力的に見せる箱を

数多く製造されています。

食品を包装するもので、特に衛生面の質の高さも、すばらしい技術です。

茨木塗料株式会社

昭和45年より、塗料を製造されています。

現在では多品種少量生産で他社では対応できない技術と、自前で開発されたソフトを生かし、全国でも活躍されています。

高級車レクサスにも使われていることから、品質の高さは世界レベルであることが証明されています。



(次頁へつづく)

(前頁より)

カナエ技研株式会社

昭和51年より「部品自動整列供給機」を製造しています。

これは、形状・材質の異なった部品に微振動を与え、条件に合った部品のみを選び、一定方向に並べ換えるものです。

各々様々な生産工程のコストを大幅に減らす技術です。

製作は手作業による生産で多年の経験とノウハウが必要です。

平生港運株式会社

昭和42年より合板の本船の入出港、荷役作業、倉庫内の搬出入作業をされています。

国際貿易港である平生港に入港する船舶の安全、輸出入貨物の通関手続き、陸揚げから搬出までスムーズに行われています。

特にクレーンとフォークリフトで行われる合板の陸揚げ作業は、高い技術とノウハウで安全かつスムーズです。

眞工金属株式会社

平成3年より鑄鉄小物製品を主力に製造し

ています。

上下水道用マンホール蓋や車両部品など、各品種・少量高品質にこだわっています。

平生工場オリジナルのジンギスカン鍋やフライパン、リサイクル漁礁など鑄物の技術革新に取り組んでいます。

葵精機株式会社

平成5年より、精密切削工具・精密金型等を製作・販売しています。

新しい技術と設備を導入し、超高精度の工作機械を使用し、高い工程管理をしています。多様なニーズに対応し、あらゆる形状の製品を製造しています。

株式会社

平成3年より機械加工を主にされています。

現在ではサッシ等の建材用曲げ加工を主軸に生産されています。自社開発された自動機により全国展開し時代をリードしています。

各社とも、各々の分野ですばらしい技術と実績をお持ちです。各社の活動が平生町の活力になっていきます。

議会としても、町民の雇用の場の確保は、最重要課題のひとつと捉え、平生町の地理的、環境的特徴を生かし、平生町の産業振興につなげるよう、今後も積極的に取り組んでいきたいと思えます。



議会の動き



(H25・12/10、
H26・3/5)

25年 12月10日	第7回定例会 議会広報広聴調査特別委員会	1月16日	議会広報広聴調査特別委員会
12月17日	議会運営委員会	1月21日	郡町議会議長会
12月24日	議会全員協議会 第2回熊南総合事務組合議会	2月10日	第1回熊南総合事務組合議会
"	第3回田布施・平生水道企業団議会定例会	2月17日	総務厚生常任委員会
12月25日	柳井地区広域消防組合議会第2回定例会	2月19日	産業文教常任委員会
12月26日	柳井地域広域水道企業団議会第2回定例会	2月20日	議会運営委員会
"	議会広報広聴調査特別委員会	2月25日	議会全員協議会
26年 1月9日	議会広報広聴調査特別委員会	"	周東環境衛生組合議会定例会
"	議会広報広聴調査特別委員会	"	柳井地域広域水道企業団議会第1回定例会
"	議会広報広聴調査特別委員会	2月27日	柳井地区広域消防組合議会第1回定例会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
・提出先 平生町役場議事事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

平生・宇佐木保育園の卒園式へ行ってきました。元気に歌う園児達を見て、私も元氣になった気がしました。

新しい保育園が3月末までに完成しないとのことで、園児達への影響が心配ですが、園児達の元氣な様子を見て少し安心しました。

3月14日深夜に伊予灘で最大深度5強の地震がありました。平生町は、震度5弱でした。平生町にも、そろそろ大災害が発生するのではないかと予見された地震でした。

また、深夜2時というところで、災害はいつ来てもおかしくないということも実感させられました。いつでも、どこでも災害はやってきます。いつでも、どこでも災害に対応できるように日ごろから心がけ準備しましょう。

松本武士